

令和３年度学校評価アンケート実施報告

新庄北高等学校最上校

I 実施期間 令和３年 11 月 19 日(金)～令和３年 11 月 29 日(月)

II 評価者 生徒(39), 保護者(39), 本校職員(14)

III 分析

1 生徒の評価

【評価の高かった項目（3.5 以上）】

[8 コース・科目選択の指導は適切にされている。]3.5

[14 先生は、社会のルールやマナーを身につけられるよう指導している。]3.5

[15 クラスマッチ・運動会・文化祭などの学校行事が充実している。]3.5

【評価の低かった項目（2.9 以下）】

[11 私は、明確な進路意識を持っている。]2.9

[18 私は、ボランティア活動や地域行事にはよく参加している。]2.7

[20 悩みや困ったことがあったとき、先生に相談することができる。]2.9

[21 私は、家庭で学校に関する話をよくする。]2.9

[25 私は、最上校だよりや学級だより等をよく読んでいます。]2.6

【分析等】（→は関連する項目）

①進路指導に関して、学校側の指導は適切であると評価しているが、進路実現へむけた自分自身の意識は不十分であると認識している。アンケート後の 12 月に進路ガイダンスや OB・OG トークなどを開催、生徒の進路意識高揚が期待される。

②豊かな社会性や人間性を育てることにに関して、学校側の指導に満足しているものの、自身の取り組みは不足していると感じている。（→保護者④）

③学校だより・学級だより等に関する関心が薄く、家庭でも学校の話あまりしない生徒がいる。（→教職員②）

④悩み事を先生に相談できる雰囲気をつくり、困り感のある生徒の情報をキャッチし確実に共有することが大切。

2 保護者の評価

【評価の高かった項目（3.5 以上）】

[3 最上校に入学させて良かったと思っている。]3.5

[13 クラスマッチ・運動会・文化祭などの学校行事が充実している。]3.5

[25 最上校は、ボランティア活動や地域活動等に貢献している。]3.6

【評価の低かった項目（2.9 以下）】

[4 教え方が工夫されていて授業が分かりやすいと聞いている。]2.9

[14 部活動が活発に行われている。]2.9

【分析等】

- ①学校行事や諸活動に対する満足度が高く、最上校に入学させて良かったと感じているが、授業指導と部活動に対する満足度が低い。(→②、③)
- ②授業の分かりやすさ、については、生徒・保護者ともに対前年差が-0.4 と下がっている。授業アンケートの結果も踏まえて、授業指導に関して、より一層の工夫・改善が必要である。ICT 機器の活用も推進していく。
- ③部活動について、スキー部が休部状態であり東北大会や全国大会等に出場する機会が無く残念である。上位大会への出場はないが、全ての部活動が活発に活動している。
- ④保護者は、最上校のボランティア活動等の地域貢献度を高く評価している。一方で、自身がよくボランティア活動に参加していると思っている生徒は約半数である。地域活動部、生徒会、つくし会などから全校生徒へボランティア活動の輪を広げていきたい。(→生徒②)

3 教職員の評価

【評価の高かった項目（3.5以上）】

[2 本年度の学校運営の重点・指導の重点を十分に理解している。]3.5

[3 本年度掲げた数値目標は妥当である。]3.5

[4 教育課程は地域の期待や教育目標に応じたものになっている。]3.5

[12 朝読書の実施をはじめ、読書活動の啓蒙に努めている。]3.5

[13 3年間を見通した進路指導に努めている。]3.5

[22 学校情報や活動内容を地域に十分に公開している。]3.6

【評価の低かった項目（2.9以下）】

[11 伸びる生徒はもっと伸ばす観点に立って、成績上位層を伸ばす工夫をしている。]2.9

[17 部活動は充実している。]2.8

【分析等】

①高い評価の項目が多い。一方で、学習面における上位層が少ないことと、下位層への指導に多くの時間を割く現状の中で、上位層への指導が手薄になっているようだ。

②教職員は最上校の情報発信を高く評価しているが、生徒・保護者の評価は高くない。周知やPR方法について工夫改善する必要がある。(→生徒③)

③前年差でみると、教職員の「生徒は校則を守っている」-0.1に対し、生徒の「最上校生は校則やきまりを守っている」が+0.1と双方の認識差あり。これまで同様に、厳しい指導の継続とあわせて、時代に合った校則に即した指導も必要である。(→生徒②)